

助動詞「す・さす・しむ」確認テスト（使役・尊敬） | 定期テスト対策 | 誰でも古典塾

組 番 氏名

／100点

本文

※①～⑯はいずれも学習用のオリジナル例文です（擬古文）。「す・さす・しむ」の接続・意味・活用を学ぶために作成しています。

- ① 夜更けて、上達部、上人など、皆ものはかなき直衣姿にて、御格子上げさせて、外を御覧ず。
- ② 大臣、笛をいみじう吹かせ給ふ。
- ③ 帝、御涙を流させ給ひて、物も仰せられず。
- ④ 翁、嫗を呼びて、この子のことを言ひ知らせけり。
- ⑤ 君のおはします所に、人をやりて消息を伝えさせたまふ。
- ⑥ 親王に歌を詠ませ、御簾の内にて聞こしめす。
- ⑦ 女御、御琴を弾かせ参らせ給ふ。
- ⑧ 入道殿、舞をなむ舞はせ給ひける。
- ⑨ 先生、生徒に古文を読ましむ。
- ⑩ 天子、徳をもて民を従はしむ。
- ⑪ 馬を走らしめて、敵陣に攻め入る。
- ⑫ 聖人、人をして道を行はしむ。
- ⑬ 月を待たせ給ふほどに、夜やうやう更けぬ。
- ⑭ 使ひをやりて、急ぎ参らせよと言はせけり。
- ⑮ かの人に文を書かせて、こなたへ届けさせよ。
- ⑯ 帝、御琴をいとめでたく弾かせおはします。

設問

1. ①の傍線部「させ」の文法的意味は、使役・尊敬のどちらか答えよ。またそう判断した理由を、すぐ下の語に着目して述べよ。
2. ②の「吹かせ給ふ」の「せ」の文法的意味を答えよ。
 - 下に何の語があるか指摘せよ。
 - この「せ給ふ」をひとまとめにして何と呼ぶか、敬語の種類と呼称を答えよ。
3. ②の例文全体を現代語訳せよ。
4. ③の「流させ給ひて」の「させ」は、使役・尊敬のどちらか。理由も簡潔に述べよ。
5. ④の「知らせけり」の「せ」は、使役・尊敬のどちらか答えよ。下に尊敬語があるか・ないかにも触れよ。
6. ⑤の「伝えさせたまふ」の「させ」の文法的意味を答えよ。
7. ⑤の例文全体を現代語訳せよ。

8. ⑥の「詠ませ」の「せ」は使役・尊敬のいずれか。下にある語に着目して答えよ。
9. ⑦の「弾かせ参らせ給ふ」には敬語が複数重なっている。「せ」の意味（使役・尊敬）を答え、なぜそう判断できるかを下の語に着目して述べよ。
10. ⑧の「舞はせ給ひける」の「せ」の意味を答えよ。あわせて、この敬語表現の呼称（最高敬語の別名）を答えよ。
11. ⑨の「読ましむ」の「しむ」の文法的意味を答えよ。
12. ⑨で「す」ではなく「しむ」が用いられているのはなぜか。「しむ」が主に用いられる文体にふれて述べよ。
13. ⑨の例文全体を現代語訳せよ。
14. ⑩の「従はしむ」の「しむ」は使役・尊敬のいずれか。理由も述べよ。
15. ⑪「走らしめて」の「しめ」を、もとの終止形「しむ」に直したうえで、なぜここで「す・さす」でなく「しむ」が選ばれているか説明せよ。
16. ⑫の「行はしむ」について、現代語訳せよ。
17. ⑬の例文全体を現代語訳せよ。
18. ⑭「弾かせおはします」の「せ」の文法的意味を答え、あわせてこの敬語表現を何と呼ぶか答えよ。
19. 次の各傍線部の活用形（下二段型の何形か）を答えよ。
 - ①「させ」
 - ⑬「待たせ給ふ」の「せ」
 - ⑮「届けさせよ」の「させ」
20. なぜ①は「さす」が用いられ、④は「す」が用いられているのか。それぞれが接続する動詞の活用の種類にふれて説明せよ。
21. 次の三つの「せ」「す」のうち、助動詞「す」（使役・尊敬）であるものをすべて選び、記号で答えよ。
 - (ア)⑬「待たせ給ふ」の「せ」
 - (イ)「物を申す」の「す」（サ変動詞「申す」の語尾）
 - (ウ)⑭「言はせけり」の「せ」
22. ⑭「言はせけり」の「せ」と、③「流させ給ひて」の「させ」は、同じ意味か異なる意味か。それぞれの意味を答えたうえで違いを説明せよ。
23. 「す・さす・しむ」に共通する活用の型を、終止形をもとに「()型」の形で答えよ。また、その型の名称を漢字で記せ。
24. 記述問題：助動詞「す・さす」が「使役」か「尊敬」かを見分けるときの最も基本的な手がかりを、一文で説明せよ。